記 者 発 表 資 料

令和３年１１月１０日
秋田河川国道事務所

「ICT舗装現場見学会」の延期について

１１月１１日に開催を予定しておりました「ICT舗装現場見学会」について、天候の影響により、１１月１６日に開催を延期することとなりましたのでお知らせします。

※ICT：Information and Communication Technology＝情報通信技術

１．開催日時

令和３年**１１月１６日（火）　14:00～15:30**

※雨天の場合は中止。

２．開催場所

国道１３号 河辺拡幅改築事業 現場内（別紙1のとおり）

３．開催概要

別紙2のとおり

4．主催

国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所、前田道路(株)東北支店

5．取材申込

別紙様式により事前に申込をお願いします。
（11月12日（金）16:00まで）
なお、小雨決行の予定ですが、天候により中止する場合があります。

＜発表記者会：秋田県政記者会＞

【問い合わせ先】

①現場見学会について
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所　TEL：018-823-4167
事業対策官　小笠原由次（内線：208）
工務第二課長　佐々木博臣（内線：411）

②ICT舗装施工について
前田道路(株) 河辺地区道路改良舗装工事 現場事務所　TEL：018-838-7266
監理技術者　中田　智

別　紙

国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　計画課　宛
（FAX　０１８－８６４－５５９９）

建設機械搭載型レーザスキャナによる「ICT舗装現場見学会」　取材申込書

当日の現場管理及び駐車場確保の関係から、取材を希望される場合は事前に申込をお願いします。

締め切り日は、令和３年１１月１２日（金）１６：００です。

会社名・部署名
取材者（役職・氏名・連絡先）
①（代表者）
②
③
連絡先（代表者の連絡先）

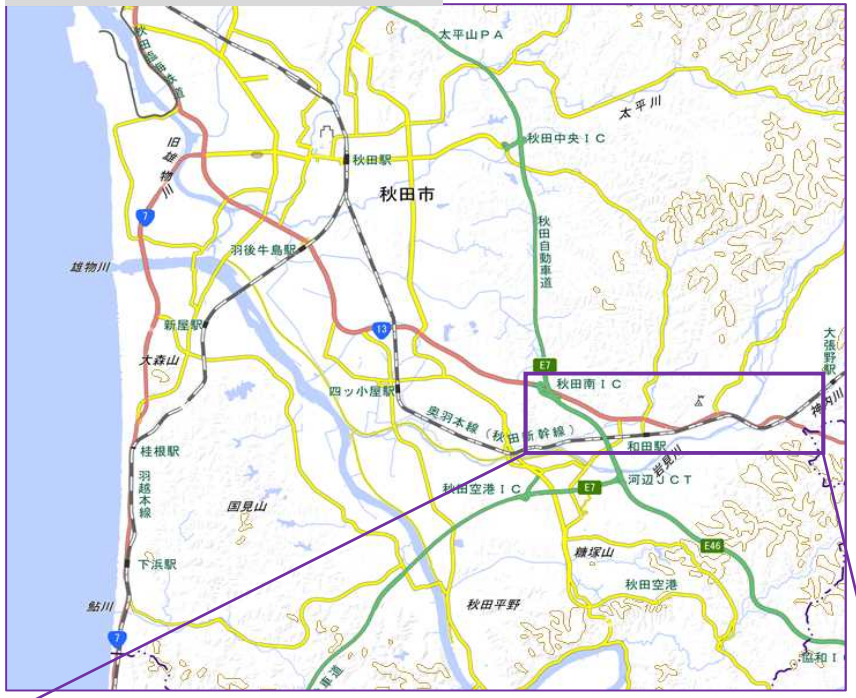
※建設現場ですので、ヘルメット・長靴をご持参下さい。
　ヘルメットがない場合は貸出いたします。
※取材される場合は、新型コロナウイルス感染防止対策として、次の対応をお願いします。
　・当日、発熱や体調の優れない方はご遠慮願います。
　・取材の際は、マスクの着用、手洗い、消毒等の徹底をお願いします。
　・取材は出来る限り少人数でお願いします。
※現場への出入り等については、現場誘導員の指示に従って下さい。

○集合場所
　別紙１により、１３：５０までに集合して下さい。

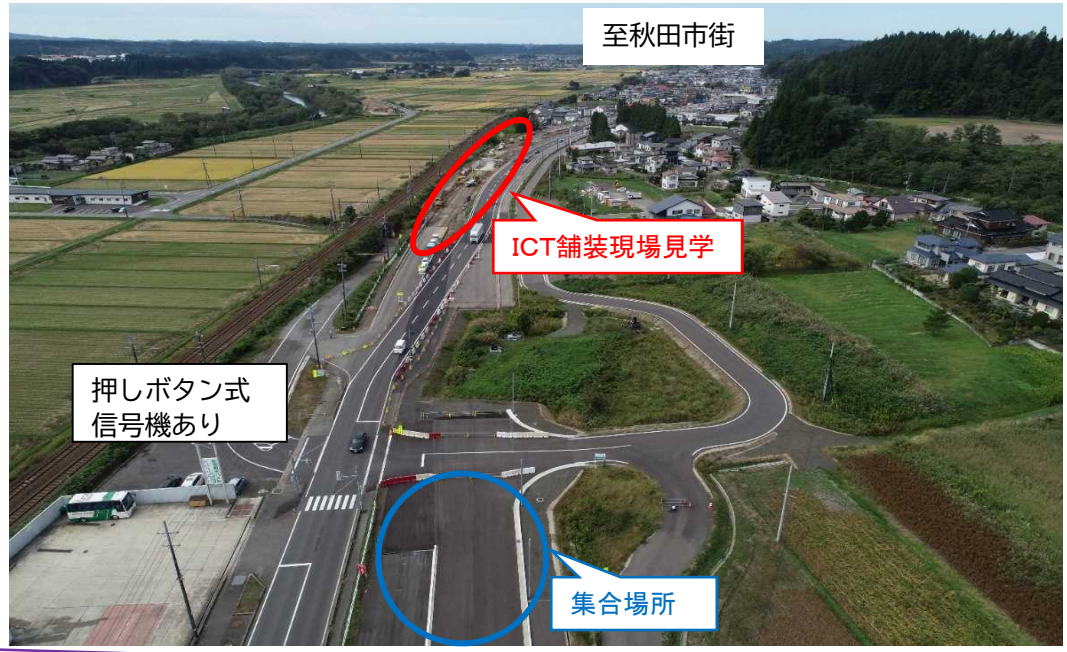
ICT舗装現場見学会　開催場所

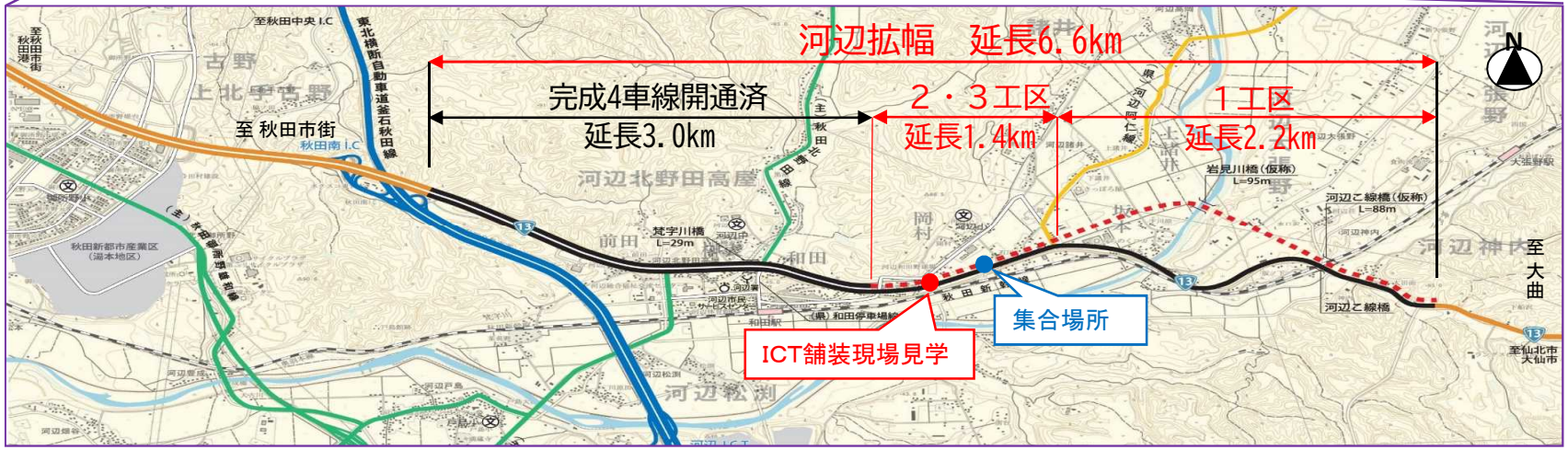
別紙１

位置図



集合場所・現場見学場所





別紙２

Ｉ ＣＴ舗装現場見学会概要

秋田河川国道事務所は、ICT-Full 活用工事の実施や地域の取組をサポートする**「i-Construction サポート事務所」**です。

■開催概要

開催月日　令和３年１１月１６日（火）
開催場所　国道１３号 河辺拡幅改築事業 現場内
見学時間　**午後 2 時～午後 3 時 30 分**
対象者：一般社団法人秋田県建設業協会
秋田県、県内市町村職員

■見学会内容と時間割

１．挨　拶・・・

ICT活用による本技術の導入効果～建設現場の生産性が飛躍的に向上～

建設現場におけるICT活用の促進

《従来方法》



手作業による幅員・高さ・厚さ等の出来形管理

《ICT活用》



地上型レーザスキャナによる出来形管理

建設機械搭載型レーザスキャナによる出来形管理

施工しながら
“出来形管理”が可能

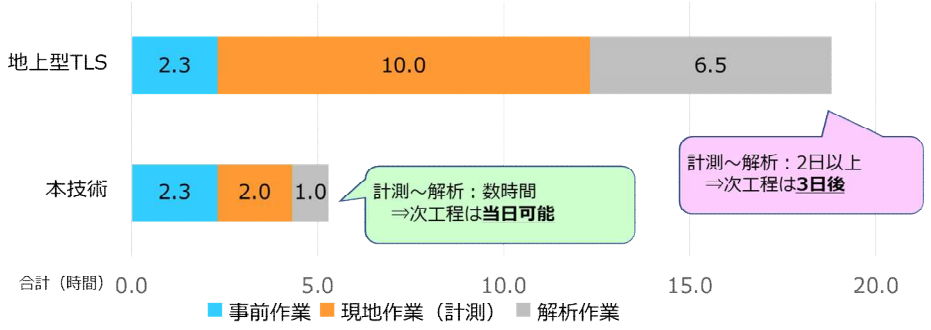






ICT活用効果：生産性向上『作業時間の短縮』

(1) ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業時間の短縮
現地作業（計測）時間の比較： 2時間（本技術） ＜ 10時間（比較技術）
(2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業時間の短縮
データ解析作業時間の比較： 1時間（本技術） ＜ 6.5時間（比較技術）

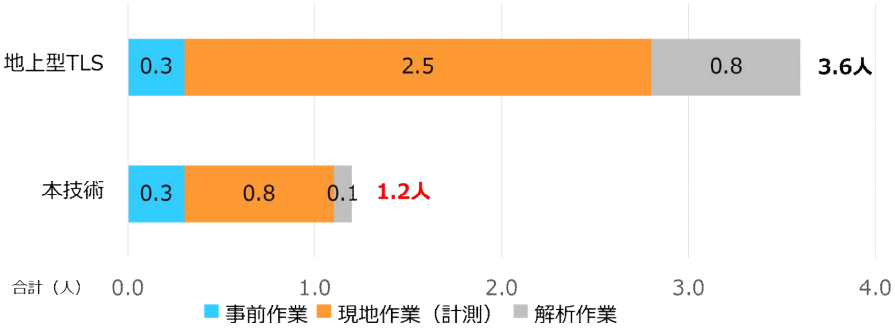


※「H30年度より開始する事項」（ICT導入協議会(第6回)資料3、2018年3月）
ICT舗装工事の起工測量における時間短縮の例（施工面積4,320㎡）をもとに前田道路が作成

本技術により舗装工の中間工程の出来形管理の省力化、効率化が大幅に向上
地上型ﾚｰｻﾞｽｷｬﾅ比 72%減

ICT活用効果：生産性向上『作業人員の縮減効果』

(1)ICT舗装工の面管理による出来形管理における現地作業の人員縮減
現地作業人員の比較： 0.75人（本技術） ＜ 2.5人（比較技術）
(2) ICT舗装工の面管理による出来形管理における計測データの解析作業の人員縮減
解析作業人員の数： 0.125人（本技術） ＜ 0.8人（比較技術）



※「H30年度より開始する事項」（ICT導入協議会(第6回)資料3、2018年3月）
ICT舗装工事の起工測量における時間短縮の例（施工面積4,320㎡）をもとに前田道路が作成

本技術により作業人員の縮減効果が見込める
地上型ﾚｰｻﾞｽｷｬﾅ比 66減%